

評価シート（年度評価）

徳川園の管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：緑政土木局＞

指定管理者名	徳川の杜グループ		
主な業務内容	徳川園の管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市東区徳川町1001		
評価対象期間	令和7年4月～令和8年3月	指定管理期間	令和4年4月～令和14年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
管理体制及び協働	1 管理体制	職員配置	○	新たにイオンナゴヤドーム前店と連携し、デジタルサイネージによる広報や仕事体験等を通し認知度アップをはかった。
		緊急時の体制	○	
		人材育成等	○	
	2 協働	市民等との協働	◎	
維持・管理運営等	1 維持管理	園内清掃	○	突如発生した北駐車場の機械制御装置故障による取替工事及び故障期間中の対応を適切に行った。 庭園の管理について、アンケートにおいて、「大変満足」、「満足」と回答した方は9割以上という結果であった。
		建物・設備の管理	○	
		保守・点検・修繕	○	
		植物管理	◎	
		管理水準の維持	○	
		関係書類の調製・保管	○	
	2 運営管理	利用者アンケートの実施	○	要望の多い庭園内での飲食に対して和菓子処キッチンカーを多く出店した。
		利用者ニーズの把握と反映	○	
		利用者サービス向上策	○	
		接客・接遇向上の取組み	○	
		苦情・要望に対する適切な処理	○	
		個人情報の適切な管理	○	
	3 この施設特有の管理	庭園の管理	○	徳川園エリアHPの総合入り口として「ポータルサイト」の運営を開始し、利用者の利便に努めた。 マルシェ型「市」の開催日数、キッチンカーの出店日数を増やし、集客や来園者の満足度向上につなげた。また、公募時の提案事項であった紅葉谷の景への園路新設を行った。
		めざす公園像への取組み	◎	
		美術館・蓬左文庫との連携	◎	
	4 魅力増進・利用促進	魅力の増進策	◎	紅葉祭・夜間開園の混雑対策として、紅葉祭期間中は毎日16時からライトアップする旨の広報を行った。 開園以来2番目となる入園者数となった。（令和7年度350,072人）
		イベント等の実施	◎	
		利用者への広報・情報提供の実施	○	
		利用者数の増加	◎	
	5 収納金の処理業務	現金等の取扱い	△	収納金の不足を発生させた。
		関係書類の調製・保管	○	
自主事業	1 自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	○	予算額以上に指定管理料への還元がされた。
		集客対策への効果	○	
		自主事業の収支及び還元	◎	
収支	1 収支	経費節減策	○	
		年間収支	○	
その他	1 その他	法令・協定の遵守	○	
		事業計画との比較分析	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等	
牡丹や花菖蒲、紅葉など伝統的な庭園の良さを生かした季節ごとの催事を充実させたほか、イベント内容、季節の旬な情報をSNS等で広く発信するなど、庭園としての魅力向上に努めた。 民間企業との連携や官民一体となった「ポータルサイト」の運用、「ガーデンツーリズム登録制度」への登録など積極的に新たに取り組む姿勢は評価できる。	

施設の現状

徳川園

施設 の 現 状	施設概要							
	名古屋城本丸の東約3kmの地にある徳川園は、徳川御三家筆頭である尾張藩第二代藩主光友が、元禄8年(1695)に自らの隠居所として大曾根屋敷を造営したことを起源としています。光友の没後、この地は尾張藩家老職の成瀬、石河、渡邊三家に譲られましたが、明治22年(1889)からは尾張徳川家の邸宅となりました。昭和6年(1931)名古屋市は、第十九代当主義親から邸宅と庭園の寄付を受けた後、改修整備を行い、翌年「徳川園」として一般公開しましたが、第二次世界大戦の大空襲によってほとんどの建物や樹林などが焼失してしまいました。 戦後、現代的な都市公園として改修し、市民に利用されてきた徳川園は、平成13年(2001)から日本庭園として再整備を行い、平成16年(2004)に開園しました。 徳川園は、矢田川の河岸段丘を生かした高低差のある地形、既存の照葉樹の森、立体的に迫る大きな岩組みが特徴で、変化に富んだ景観を劇的に展開する構成としています。 なお、平成26年10月7日に「徳川園黒門」「徳川園脇長屋」「徳川園堀」「徳川園釣瓶井戸」「蘇山荘」「蓬左文庫旧書庫(教育委員会所管)」が、国の登録有形文化財に登録されました。 また、令和2年にはPark-PFI(飲食店、売店等の公募対象公園施設の設置又は管理と、その周辺の園路、広場等の特定公園施設の整備、改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度)を活用した公園再生事業に着手し、令和4年7月には施設の一部を公募対象公園施設・特定公園施設としてリニューアルしました。 なお、Park-PFIの導入により、令和4年度より10年間の指定期間としています。							
	市の収支状況(千円) (7年度決算見込み額)							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	122,517	—	122,517	78,423	—	44,094	122,517	1,677
	特記事項							
	平成22年度から指定管理者制度を導入。							
	管理 運 営 指 標 の 状 況	取組状況						
		指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
入園者数		人	234,535	294,860	299,577	350,072		
利用者1人あたり運営費		円	524	413	413	350		
特記事項								

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載